

のどぬ～るスプレー



口腔内殺菌消毒薬

第3類医薬品

ご使用に際して、この添付文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。
使用期限（パッケージ底面および容器ラベルに記載）
を過ぎた製品は使用しないこと

〔販 売 名〕のどぬ～るスプレーB

特 徴

- 1) のど粘膜の細菌などを殺菌・消毒するスプレー
タイプののど薬
- 2) 長いノズルで患部に効き目がしっかり届く
- 3) 携帯しやすく必要な時に使える

⚠ 使用上の注意

❌（してはいけないこと）

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる）

① 次の人は使用しないこと

- （1）本剤またはヨウ素（ポビドンヨード）によるアレルギー症状を起こしたことがある人
- （2）甲状腺疾患のある人
- （3）2歳未満の乳幼児
- （4）妊婦、または妊娠していると思われる人
- （5）授乳中の人

② 長期連用しないこと

③ 大量に噴射しないこと

👤（相談すること）

① 次の人は使用前に医師または薬剤師に相談すること

- （1）医師または歯科医師の治療を受けている人
- （2）本人または家族がアレルギー体質の人
- （3）薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- （4）次の症状のある人 口内のひどいただれ

② 次の場合は、直ちに使用を中止し、この文書
を持って医師または薬剤師に相談すること

（1）使用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
口	あれ、しみる、灼熱感、刺激感
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心
そ の 他	不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります
その場合は直ちに医師の診療を受けること

症状の名称	症 状
ショック （アナフィラキシー）	使用後すぐにじんましん、浮腫、 胸苦しさなどとともに、顔色が青 白くなり、手足が冷たくなり冷や 汗、息苦しさなどがあらわれる
アナフィラキシー 様症状	胸苦しさ、むくみ、じんましん、 発疹などがあらわれる

（2）5～6日間使用しても症状がよくなりません

〔効能・効果〕のどの殺菌・消毒

〔用法・用量〕1日数回、適量を患部に噴射してください

〈用法・用量に関連する注意〉

- （1）ノズルをのどの患部にむけて、軽く息をはきながら
噴射すること（息を吸いながら使用すると、液が気管
支や肺に入ることがある）（2）小児に使用させる場
合には特に注意し、保護者の指導監督のもとに使用
させること（3）目に入らないように注意すること
万一目に入った場合は、すぐに水またはぬるま湯で
洗い流し、直ちに眼科医の診療を受けること（4）薬
液を誤って大量に飲み込んだ時は、直ちに医師の診
療を受けること

〔成分・分量〕100mL中

有効成分	分量	はたらき
ヨウ素	0.5g	のどの殺菌・消毒

添加物として、ヨウ化カリウム、グリセリン、プロピレングリコール、D-ソルビトール、エタノール、l-メントール、香料を含有する

〈成分・分量に関連する注意〉

本剤の使用により、銀を含有する歯科材料（義歯など）が変色することがある

保管および取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しいところに密栓して立てて保管すること
 - (2) 小児の手の届かないところに保管すること
 - (3) 他の容器に入れかえないこと（誤用の原因になったり品質が変わる）
 - (4) 使用期限を過ぎた製品は使用しないこと
- 使用中に薬液がこぼれ衣類などが着色したら、すぐに水洗いすること
 - 液が出ない時は、液が出るまで数回空押しすること
 - 温度の低い場所で保管された場合、液が出にくい時がある。その場合は手のひらなどで温めてから使用すること

発売元
小林製薬株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町4-3-6

—— 製品のお問い合わせ先 ——

お客様相談室 ☎ 06(6203)3625

受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

ホームページアドレス <http://pr.kobayashi.co.jp>

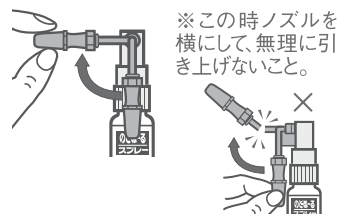
製造販売元
小林製薬株式会社

〒567-0057 大阪府茨木市豊川1-30-3

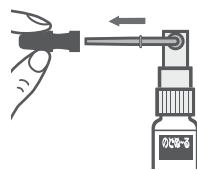
MADE IN JAPAN 10086491

使用方法

① ノズルを必ず正面手前にしてから矢印の方向に90°回してください。



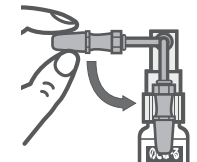
② 矢印の方向に引いて必ずキャップを外してください。



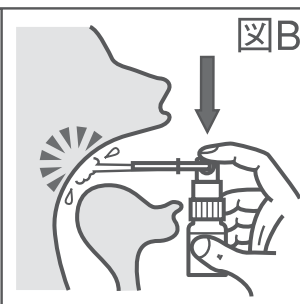
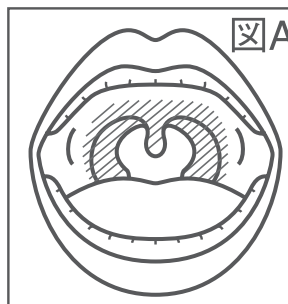
③ はじめて使用する時は、必ず液が出るまで4～5回空押ししてください。1回2～3噴射を目安に適量を噴射してください。



④ 使用後は、キャップを確実にはめてノズルをもとの位置にもどしてください。



患部にうまく薬液が届かない場合は、鏡を見ながら図Aの斜線部を目がけて噴射してください。図Bの様に大きく口を開け、やや上を向いて噴射すると、うまく患部に命中します。



- 注意**
- 噴射する時、ポンプの頭部はゆっくり押してください。速く押すと液がはね返って飛び散ることがありますのでご注意ください。
 - ノズルの先端を針等で突くと折れた時大変危険ですので絶対におやめください。